



移動販売車「くるくる豆蔵」での販売の様子

くるくる豆蔵は、自社で9台所有。豆腐関連商品をはじめ、パンや菓子などを販売する。FCは一宮市に本社を置く物流会社1社が4台を開拓する。

石川社長は「街の『豆腐屋』が減少し、直売所が減っている。購入者と直接向き合える売り場づくりの拡大が必要だと考えた」と語る。

FC展開強化に向け、車両を



石川伸社長

おとうふ工房いしかわ

豆腐製造販売のおとうふ工房いしかわ（本社高浜市豊田町、石川伸社長、電話0566・54・0330）は、移動販売車「くるくる豆蔵」のフランチャイズチェーン（FC）展開を強化する。独立開業や新規事業を検討する個人事業者をメインターゲットに提案。関東地区への進出を目指す。豆腐関連商品の売り場拡大と、自社ブランドの認知度向上が狙い。

（高浜・片桐芳樹）

含め300万円から開業できるパッケージを開発した。3月6日から東京ビッグサイトで開かれる展示会「フランチャイズ・ショー」に出演し、FC参加を募る。独自性の高い商品をそろえ

るメリットなどをアピールする。また、移動販売車が訪れることで、地域のコミュニケーションを生み出し、地域の見守りにつながるなど社会的ニーズに対応できる事業として強調する考えだ。

石川社長は「移動販売車から、豆腐売り場の拡大へ新しい業態の開発にも取り組みたい」と話している。

移動販売車のFC展開強化

豆腐関連商品
売り場拡大へ

関東進出めざす